

## 「牧会学 I」シラバス

担当 藤野純一

牧会学は、広範、多岐にわたる内容を持っています。また牧会者の賜物、個人的な興味、志向が大きく入ってきます。限られた1学期の中で、牧会、すなわち、人がクリスチャンとして成長できるように導くための原則を聖書から把握し、多様なあり方に(少し)触れ、自分の牧会のイメージ、スタイルの形成を助けることを目的とします。ただし、牧会とは、必ずしも牧師としての働きに限定されるわけではありません。聖書が教えている牧会の原則は、教会の役員、リーダー、教会学校教師として、あるいは一人のクリスチャンとして、家庭の中でも、社会の組織の中であっても、そのまま適用できることです。そのために、以下のようにクラスを進めます。

### A. 授業の進め方

「牧会の教科書としての聖書」、「人間とは」、「クリスチャンとは」、「クリスチャンの成長の速さ」、「教会の指導者とは」、「教会での物事の決め方」、「教会のリーダーシップ体制」、「牧会の目的」、「クリスチャンの成長のための方法」、「礼拝の様子」、「リーダーとしての行動」、「戒めることについて」、「説教のあり方」、「御霊の祈り、私たちの祈り」、「伝道への勧めは?」、「神との交わりー休日の過ごし方」などのトピックについて、聖書が示しているところを、ディスカッションをしながら学んでいきます。

### B. 読書課題

履修中に、以下から3冊を選んで読み、それぞれから①教えられたことと、②それらを自分の牧会にどのように取り入れようと思うかを、A4用紙1枚に、1000字程度にまとめて、提出してください。

- a. C・H・スポルジョン 『牧会入門』 聖書図書刊行会
- b. ハ・ヨンジョ 『使徒の働きの教会をめざして』 Duranno Japan 2007年
- c. リック・ウォーレン 『健康な教会への鍵』 いのちのことば社
- d. C・H・スポルジョン 『牧会と伝道』 いのちのことば社
- e. 岡村又男 『教会役員・リーダーの役割』 いのちのことば社
- f. クリスチャン・シュヴァルツ 『自然に成長する教会』 JCMN出版
- g. 野田秀 『牧師の責任 信徒の責任』 いのちのことば社 2008年
- h. D・M・ロイドジョンズ 『教会とは何か?』 いのちのことば社 2005年
- i. ジョン・ドライバー著 『教会 イエスの共同体』 すぐ書房 1982年
- j. 聖書神学舎教師会編 『聖書から考える牧会』 いのちのことば社 2012年

藤野純一 『新約聖書の語る教会形成のあり方を求めて』を読んでください。

### C. 評価

試験は行いません。

- a. 読書レポート
  - b. 最後に提出する、自分の牧会方法に関するレポート
  - c. 授業中の意見発表
- によって評価させていただきます。

以上